

USB 2.0 DVD±R/RWドライブユニット LDR-CA160U2ハードウェアマニュアル

目次

ごあいさつ	4
製品の特徴	5
メディアについて	7
接続の際の注意	9
メディアの取り扱いについて	10
メディアのセットと取り出し	14
本製品を取り外す手順	16
使用環境について	18
トラブルシューティング	19
デバイス上の登録名について	24
ハードウェア仕様	25
オプション品について	27



ご注意

当社DOS/V対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/Vパソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADGは「PCオープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

ごあいさつ

この度は弊社 DVD ± R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本書は DVD ± R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

製品の特徴

本製品は、DVD+R 2層、DVD+R 1層、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RWの各メディアへの書き込み、DVD-RAMメディアの読み込みに対応したUSB 2.0 High-Speed接続タイプのDVD ± R/RWドライブユニットです。

DVD+R2層メディアへの4倍速書き込みに対応しています。2層メディアは記録可能容量が8.5GBと大容量ですので長時間映像の録画や、PCデータのバックアップなどの用途に最適です。

DVD+R1層メディア、DVD-Rメディアへの16倍速書き込み、DVD+RW、DVD-RWメディアへの4倍速書き換えに対応しています。また、DVD-RAMメディアの読み込みにも対応しています。

DVD+R 1層、DVD-Rメディアへの16倍速書き込み時は、メディアの内周から外周の間を複数のゾーンに分け、6倍速から16倍速へと段階的に書き込み速度をあげる「Zone CLV方式」を採用しています。

PC電源連動機能を搭載しているため、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFを自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源がOFFになり、復帰時にONとなります。

転送モード識別表示ランプが搭載されています。本製品前面の「転送モード識別表示ランプ」の点灯色によってUSB 2.0接続（緑色点灯）か、USB 1.1接続（オレンジ色点灯）かを確認できます。

市販DVDビデオタイトル（CSS対応のもの）の再生時には、自動的に回転速度を2倍速～5倍速にして騒音の発生を抑える「静音機能」を搭載しています。

メディアの反りや厚みのばらつきによる書き込み精度の低下を解消し、高精度の書き込みを実現する「液晶チルト」機構を搭載しています。

記録回路をピックアップ上に搭載することで高速書き込み時の記録品質を大幅に向上する「スマートレーザードライバ技術」や高速回転時の機械振動を大幅に低減する「Ultra DRA（Dynamic Resonance Absorber）技術」等を採用しています。

データCD-ROMアクセス時には、最大40倍速のCD-ROMドライブとして使用することができます。また、CD-Rメディアには最大32倍速で書き込み、CD-RWメディアには最大24倍速で書き換えが行えます。

追記書き込みに対応しているため、DVD+R 2層、DVD+R 1層、DVD-R、CD-Rメディアの記録可能容量を最大限利用することができます。



ご注意

- ・ ご使用のパソコンの使用によっては電源連動機能がうまく機能しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源のON/OFFを切り替えてください。
- ・ 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・ 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R 2層、DVD+R 1層、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤーのマニュアルをご参照ください。
- ・ 本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・ 本製品は「メディアレスキュー機能」には対応していません。
- ・ DVDメディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・ 本製品はセルフパワー（ACアダプタからの電源供給）で動作します。バスパワー（USBポートからの電源供給）では動作しません。

メディアについて

使うことができるメディア

- その用途では使用できません

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD+ R 1層	4.7GB	16倍速、12倍速、8倍速 4倍速、2.4倍速	最大12倍速
DVD+ R 2層	8.5GB	4倍速、2.4倍速	最大8倍速
DVD+ RW	4.7GB	4倍速、2.4倍速	最大8倍速
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	16倍速、12倍速、8倍速、6倍速 4倍速、2.4倍速、標準速	最大12倍速
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB	4倍速、2倍速、標準速	最大8倍速
DVD- Video (CSS有り)	-	-	2~5倍速
DVD-ROM 1層	4.7GB	-	最大16倍速
DVD-ROM 2層	8.5GB	-	最大12倍速
DVD-RAM		-	最大2倍速
CD- R		32倍速、24倍速、16倍速 10倍速、4倍速	最大40倍速
CD- RW		24倍速、20倍速、16倍速 10倍速、4倍速	最大32倍速
CD- ROM		-	最大40倍速

全てUSB 2.0 接続時の理論値です。USB 1.1 接続時は、「DVDメディアへの書き込み/読み込み」が標準速未満、「CDメディアへの書き込み」が最大8倍速に制限されます。また、DVDメディアへのビデオの書き込み/読み込みは未対応となります。

8cm メディアを使用するときは市販の8cmアダプタを使用しないでください。

DVD/CDメディアへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は念のため読み込みを行って、メディアに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。また、B's Recorder GOLDを使用して、大切なデータの書き込みを行う場合は、書き込み設定ウィンドウで、「ベリファイ」および「コンペア」にチェックを入れてください。

DVD-RAMメディアは読み込みのみ対応しています。ただし、Type1のDVD-RAMメディアは使用できません。Type2、Type4のDVD-RAMメディアはカートリッジから取り出してご使用ください。

UDF 2.0またはFAT32でフォーマットされたDVD-RAMメディアは、Windows XP以外の環境ではマイコンピュータやエクスプローラ上では読み込むことができません(UDF 1.5でフォーマットされたDVD-RAMメディアは読み込み可能です)。

DVDレコーダで録画されたDVD-RAMメディアは、Power ProducerやPowerDVDで読み込むことが可能です。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証はいたしかねます。

メディア名	推奨メーカー
DVD+Rメディア 2層	三菱化学メディア
DVD+Rメディア 1層	ソニー、太陽誘電 (That's)
DVD+RWメディア	ソニー、三菱化学メディア、リコー
DVD-Rメディア	ソニー、TDK、日立マクセル
DVD-RWメディア	日本ビクター、三菱化学メディア
CD-Rメディア	ソニー、太陽誘電 (That's)、TDK、日立マクセル、富士写真フイルム、三井化学、三菱化学メディア、リコー
CD-RWメディア	リコー、三菱化学メディア

DVD+R メディアへの16倍速、12倍速、8倍速書き込みには、高速記録対応DVD+Rメディア「DVD+R Ver.1.2」が必要です。

DVD+R メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD+Rメディアが必要です。

DVD+RW メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD+RWメディア「DVD+RW Ver.1.2」が必要です。

DVD-R メディアへの16倍速、12倍速、8倍速書き込みには、高速記録対応DVD-Rメディア「8X-SPEED DVD-R Revision 3.0」が必要です。

DVD-R メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD-Rメディアが必要です。

DVD-RW メディアへの4倍速書き込みには、高速記録対応DVD-RWメディア「4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0」が必要です。

DVD-RW メディアへの2倍速書き込みには、高速記録対応DVD-RWメディアが必要です。

CD-RWメディアへの24倍速 / 16倍速書き込みには、Ultra Speed+ タイプまたはUltra SpeedタイプのCD-RWメディアが必要です。

⚠️ ご注意

- DVDメディア、CDメディアともに書き込みの際には書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。
- DVDメディアにはラベルなどを貼り付けしないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。

本製品をパソコンに接続する際は以下の点にご注意ください。

- ・パソコン本体への接続はUSB 2.0ポートへ接続することをお勧めします。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、USB 1.1接続時は、「DVDメディアへの書き込み / 読み込み」が標準速未満「CDメディアへの書き込み / 読み込み」が最大8倍速に制限されます。また、DVDメディアへのビデオの書き込み / 読み込みは未対応となります。
- ・本製品はUSBハブ経由では接続しないでください。USBハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ずACアダプタのコンセントを接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続しないでください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続し使用する場合も、なるべく本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

次のような場所には置かないでください。

- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。(結露が生じます)

取扱い上のお願ひ

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。

メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。

メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のは使用しないでください。キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

メディアの取り扱いについて (続き)

DVD-RAM メディアについて

本製品はDVD-RAM メディアの読み込みに対応しております。DVD-RAM メディアをご使用の際は、あらかじめ以下の点をご確認ください。

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAMは、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。**本製品ではDVD-RAMメディアの読み込みのみに対応しています。**

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMディスクも市販されています。

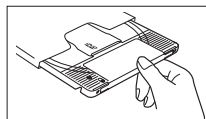
TYPE2、TYPE4 DVD-RAM メディアの取り扱い

次のような所には置かない

- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。
- 温度差の激しい所

取扱い上のお願い

- メディア表面に触れない。
- 落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。
- はがしたラベルを再度貼らない。
- 使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)
- 定期的にバックアップ(データの複製)を行う。
- 大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)
- ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。



図

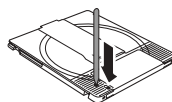


図

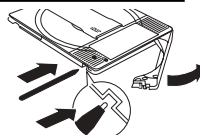
メディアの取り扱いについて（続き）

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

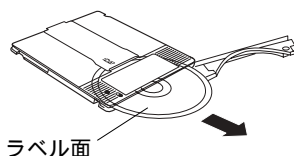
- 1 カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのレーベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

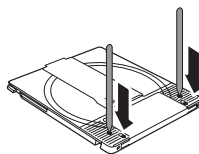
取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

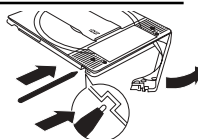
メディアの取り扱いについて (続き)

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

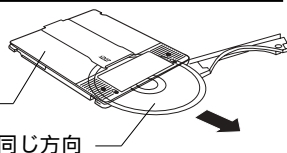
- 1 カートリッジのロックピン(2ヶ所)を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE Aを同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを閉じた後ライトプロテクト(書き込み禁止・許可)の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水(油)滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ペンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

その他のご注意

- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 著作権保護機能(CSS、CPPM、CRPM等)やコピー防止機能(COPY CONTROL CD等)が付加されているメディアは複製できません。
- パケットライトソフトウェア「B's CLIP」でDVD+RWメディア、DVD-RWメディアに書き込まれたデータは、それぞれのメディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD+RWメディアへの書き込みには「Random Access Write方式」が、DVD-RWには「Restricted Overwriting方式」が使用されているためです。

メディアのセットと取り出し

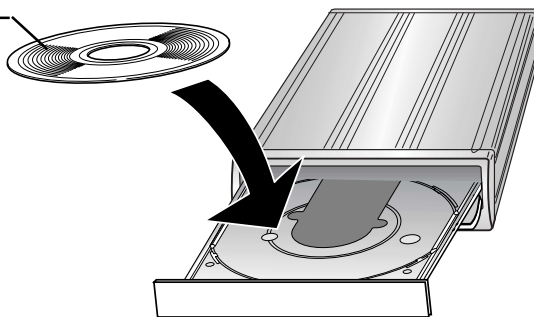
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

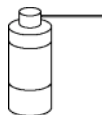
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上にしませう。



ご注意

- ・本製品でカートリッジ付き DVD-RAM メディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1 の DVD-RAM メディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVD メディアにはラベルを貼付しないでください。メディアが偏重心を起し、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。



ダストクリーナ

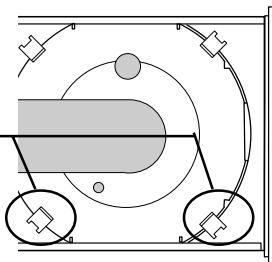


縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

ツメ



ご注意

Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

本製品を取り外す手順

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・ 書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・ 取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・ 本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

Windows XP、Me、2000をご使用の場合は、上記の点を確認の上、以下の手順でアンプラグ操作を行ってから、本製品の取り外しを行ってください。

Windows 98 Second Editionの場合は、アンプラグ操作を行なう必要はありません。上記の点をご確認後、本製品の取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。(ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。)



表示されるメッセージ

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ (E:) の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」

Point

ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
 - ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。
-

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。



参考

電源スイッチを「AUTO」の位置にしていると、製品の取り外し時（アンプラグ時、アンマウント時）に、本製品の電源が OFF になる場合があります。

使用環境について

本製品を使用する場合に必要なシステム環境の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USBポートを搭載していること。

(DVDビデオの作成・再生には接続先のポートがUSB 2.0に対応していること)

以下のCPUを搭載していること。

- ・ DVDビデオを作成する場合 Pentium III 700MHz以上のCPU
(PowerProducerでダイレクトライティングを行う場合は、Pentium 4 2GHz以上のCPUを搭載していること)
- ・ ビデオを再生する場合 Pentium II 350MHz以上のCPU
- ・ PCデータの書き込み/バックアップを行う場合 Pentium III 450MHz以上のCPU

以下のメモリを搭載していること

- ・ DVDビデオを作成する場合 128MB以上のメモリ
- ・ ビデオを再生する場合 64MB以上のメモリ
- ・ PCデータの書き込み/バックアップを行う場合 64MB以上のメモリ

ハードディスクに10GB以上の空き容量があること(20GB以上を推奨)。
CD-R, CD-RWへの書き込みを行う場合は800MB以上

できるだけ高速なCPU/大容量メモリ/大容量HDドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me (*1)

Windows 98 SecondEdition (*1 *2)

Windows 2000 Professional

*1 DVD Copy Platinum はご使用になれません。

*2 Second Edition でないWindows 98 は対象外となります。



ご注意

- ・ 本製品は日本電気株式会社PC-9800シリーズでは使用できません。
- ・ ご使用のパソコン環境によっては16倍速で書き込みができない場合があります。
- ・ 最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

トラブルシューティング

目次

本製品がまったく認識されない。.....	20
本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。.....	20
セットしたメディアが認識されない。.....	20
サスペンドモードから復帰できない。.....	20
メディアの書き込み時にエラーが多発する。.....	20
Windows Me でシステムがシャットダウンしなくなる。.....	21
特定のDVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。.....	22
DVD-RAM に書き込みができない。.....	22
DVD-RAM を読み込みができない。.....	22
パソコン上でDVDビデオが再生できない。.....	22
本製品で作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できない。.....	23
ブランクのDVD+R2層, DVD+R1層、DVD-R、DVD+RW、DVD-RWメディア をセットすると、マイコンピュータやエクスプローラ上でAudio CDとして認識 される。.....	23
その他：ホームページについて	23

本製品がまったく認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

USB 2.0 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用 OS のバージョンに問題はありますか？

本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

「デバイスマネージャ」を起動して、「ハードディスクコントローラ」に「！」マークなどがついていないかどうかを確認してください。「デバイスマネージャ」を起動するには、Windows Me、98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

セットしたメディアが認識されない。

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

そのメディアは本製品でサポートしているものかどうかを確認してください。本製品で使用可能なメディアについては「スイスイセットアップガイド」裏面をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「使用環境について」をご参照ください。

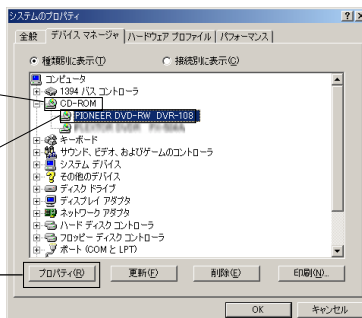
Windows Me でシステムがシャットダウンしなくなる。

以下の手順で本製品の CD-ROM 自動挿入機能を OFF に設定してください。

「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

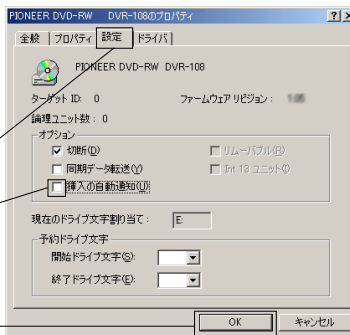
「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されます。

1. CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
2. 「PIONEER DVD-RW DVR-108」をクリックして選択状態にして、
3. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



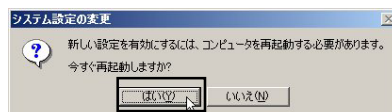
本製品（PIONEER DVD-RW DVR-108）のプロパティウィンドウが表示されます。

1. 「設定」タブをクリックして「設定」ウィンドウを表示させます。
2. 「挿入の自動通知」のチェックボックスのチェックマークを外して、
3. 「OK」ボタンをクリックします。



再び「デバイスマネージャ」ウィンドウに戻りますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。「はい」をクリックしてシステムを再起動してください。



以上で設定は終了です。「はい」をクリック

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。

そのメディアは Macintosh 用の CD-ROM (HFS フォーマット) ではありませんか？

Windows 環境では Macintosh 用の CD-ROM はアクセスできません。

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？

そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

DVD-RAM に書き込みができない。

本製品は DVD-RAM メディアの書き込みには対応しておりません。読み込み用途のみご使用ください。

DVD-RAM を読み込みができない。

読み込みを行おうとしている DVD-RAM メディアのフォーマット形式をご確認ください。本製品を使用して DVD-RAM メディアの読み込みを行う場合、OS により読み込み可能なフォーマット形式が異なります。下表をご参照ください。

		フォーマット形式			
		UDF 1.02	UDF 1.5	UDF 2.0	FAT 32
使用OS	Windows XP				
	Windows Me			×	×
	Windows 98			×	×
	Windows 2000			×	×

DVD レコーダで録画された DVD-RAM メディアは、Power Producer や PowerDVD で読み込むことが可能です。

パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

PowerDVD は正しくインストールされていますか？

リージョンコード「2」または「ALL」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディアに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。

ブランクの DVD+R2 層、DVD+R1 層、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW メディアをセットすると、マイコンピュータやエクスプローラ上で Audio CD として認識される。

B's CLiP がインストールされていない場合、OS がブランクの DVD メディアを正常に認識できず、「Audio CD」として認識してしまいます。
本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM から B's CLiP をインストールすることによって、「Audio CD」として誤認識されることはなくなります。

その他：ホームページについて

弊社および添付ソフトウェアの各社ではインターネット上にホームページを開いています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

株式会社ビー・エイチ・エー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp/>

サイバーリンク株式会社

ホームページアドレス：<http://www.cli.co.jp/>

インタービデオジャパン

ホームページアドレス：<http://www.intervideo.co.jp/>

デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP Windows 2000	DVD/ CD-ROM ドライブ	PIONEER DVD-RW DVR-108 USB Device
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-108
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD-ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-108
	ハードディスク コントローラ	Logitech USB Mass-Storage Class Miniport Driver
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	Logitech USB Mass-Storage Class WDM Driver

上記のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LDR USB Device」という項目があるかどうかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に「SoftwarePack」CD-ROMをセットし、再度USBドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me , 98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - CA160U2
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
バッファアンダーラン機能		有り
インターフェース		USB 2.0 High-Speed
コネクタ形状		USB シリーズ B
ドライブメーカー		PIONEER
書き込み 速度 *1 *2	DVD+R 1層	16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 6 倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+R 2層	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+RW	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD-R	16 倍速 / 12 倍速 / 8 倍速 / 6 倍速 4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	DVD-RW	4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	CD-R	32 倍速 / 24 倍速 / 16 倍速 10 倍速 / 4 倍速
	CD-RW	24 倍速 / 20 倍速 / 16 倍速 10 倍速 / 4 倍速
読み込み 速度 *1	DVD-ROM (1層)	最大 16 倍速
	DVD-ROM (2層)	最大 12 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り) *3	2 ~ 5 倍速 (CAV)
	DVD-RAM *4	2倍速
	DVD+R、DVD+RW	
	DVD+R 1層	最大 12 倍速
	DVD+R 2層	最大 8 倍速
	DVD+RW	最大 8 倍速
	DVD-R	最大 12 倍速
	DVD-RW	最大 8 倍速
CD-ROM、CD-R	最大 40 倍速	
CD-RW	最大 32 倍速	
記録方式	DVD+R	Sequential recording 方式
		Multi-session recording 方式
	DVD+RW	Random Recording 方式
	DVD-R	Disc at once 方式
		Incremental recording 方式
		Multi Border 方式
	DVD-RW	Disc at once 方式
		Restricted Overwriting 方式
		Incremental recording 方式
		Multi-border recording 方式
CD-R CD-RW	Disc at once 方式 / Track at once 方式	
	Session at once 方式 / Packet write 方式	

記憶容量	DVD+ R 2層	片面ディスクで 8.5 GB 以下	
	DVD+ R 1層 DVD+ RW DVD- R、DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下	
平均アクセスタイム		DVD - ROM : 140 ms	
		DVD - RAM : 250 ms	
		CD - ROM : 130 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *5	USB 2.0	480 Mbps	
	USB 1.0	12 Mbps	
メディアとの最大 データ転送速度 *5	DVD - ROM	最大 21600 KB / s	
	DVD+ R DVD- R	最大 21600 KB / s	
	DVD + RW DVD- RW	最大 10800 KB / s	
	DVD - RAM	2770 KB / s	
	CD - ROM / CD- R	最大 6000KB / s	
	CD- RW	最大 4800 KB / s	
DVD - ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	「2」に設定済み	
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		17 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		158 × 50 × 252 mm *7	
質量		1.8 kg *8	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。8cmは水平時のみ使用可能となります。

また、DVD-RAM以外のDVDメディアはUSB 1.1 (Full-speed) 接続では使用できません。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。CDメディアをUSB 1.1接続で使用する場合、書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。

*2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。

*3 CSSのないDVDビデオは最大12倍速で読み込みを行います。

*4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは使用できません。カートリッジから取り出して使用してください。

*5 理論値

*6 ただし、結露なきこと

*7 横置き時、突起部を除く

*8 本体のみ

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

USB 2.0 インターフェースボード、インターフェースカード

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCI バス用インターフェースボードもしくは CardBus 対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA- USB2NH	PCI	インターフェースボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8 以降対応
LHA- USB2/M	PCI	インターフェースボード単体 Windows、Mac OS X 10.2 以降対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB- USB2AB- 005	0.5m	シリーズ A - シリーズ B
CB- USB2AB- 010	1.0m	シリーズ A - シリーズ B